

## 「南砺市地域支えあい いのちを守る自殺対策計画（案）」について

### のパブリックコメントの結果について

平成31年2月15日（金）～平成31年3月6日（水）まで「南砺市地域支えあい いのちを守る自殺対策計画（案）」に対する意見公募を実施したところ、期間中に1件のご意見をいただきました。

ご意見の内容とご意見に対する市の回答及び対応については、次のとおりです（意見は出来るだけ原文のまま掲載しています）。

ご意見の内容	市の回答及び対応
<p>県内でLGBTなどの性的マイノリティの支援活動をしています。会員の中には、これまでに自殺を考えた、自傷行為をしているなどと教えてくださる方もいます。</p> <p>LGBTの人たちは、性自認や性的指向に関して、学校、職場などでいじめや差別等に遭いやすく、周囲の偏見から親しい人にも相談しにくい。孤立傾向にあります。実際に会員の方から、学校でいじめられていた、不登校だった、就職で差別された、ハラスメントに遭ったなどの声を聞きます。自殺総合対策大綱や県の自殺対策計画には、性的マイノリティへの支援について盛り込まれました。どうか、南砺市の計画におきましても、少数者の悩みに気づき、支援につなげ、広く市民に啓発するための取組みを盛り込んでいただければと思います。</p> <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報発信による理解促進事業において、法務省の啓発リーフレット等を参考に、性的マイノリティの啓発を行う</li><li>・人材育成の点から、ゲートキーパーの養成研修や相談窓口職員に対する研修に性の多様性を盛り込む、相談窓口にはレインボー</li></ul>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>本市の計画（案）では「性的マイノリティ」に言及した記載をしておりませんが、ご意見のとおり、性の多様性は個人の尊厳にかかわる大切な要素です。性的マイノリティについての理解を進めるための取組みは重要であると考えています。</p> <p>計画書17ページ中の「2現状から見えた課題（1）悩んでいる人に気づき、相談窓口につなぐ人材の育成」内にも明記させていただくとともに、人材育成の取組みの中で、ゲートキーパー研修や相談窓口職員に対する研修において、性の多様性についても取り扱い、理解を図っていきたいと考えています。</p> <p>また学童思春期保健事業においては中学1年生を対象に性の多様性について既に盛り込んで実施をしておりますが、子どもたちだけではなく大人（教職員、保護者らのPTA関係者、いじめを含む相談の関係者等）を対象にした理解促進の対策を行う必要があると考えています。</p>

フラッグを掲げる。

・学童思春期保健事業、P T A活動の支援・育成に関する事業、教職員研修に性の多様性に関する内容を盛り込んでいただく

・いじめを含む教育相談や不登校児童生徒支援事業に関わる方へ、知識を普及啓発する

・商工団体等の研修会に、性的マイノリティの就職差別はしてはいけないことや、職場でのハラスメントに性的指向や性自認も明記されたことを周知していただく

以上の取組みをご検討いただければと思います。